

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2011年2月6日

### 聖日礼拝

ネヘミヤ記連講1

「私も、私の父の家も、  
罪を犯し」

ネヘミヤ記1章1-11節

竿代 照夫 牧師



聖書朗読

旧約聖書

ネヘミヤ記1章1-11節

- 1 ハカルヤの子ネヘミヤのことは。  
第二十年のキスレウの月に、  
私がシュシヤンの城にいたとき、
- 2 私の親類のひとりハナニが、  
ユダから来た数人の者と  
いっしょにやって来た。  
そこで私は、  
捕囚から残ってのがれた  
ユダヤ人と  
エルサレムのことについて、  
彼らに尋ねた。

3 すると、彼らは私に答えた。

「あの州の  
捕囚からのがれて生き残った  
残りの者たちは、  
非常な困難の中にあり、  
またそしりを受けています。  
そのうえ、  
エルサレムの城壁はくずされ、  
その門は  
火で焼き払われたままです。」

4 私はこのことばを聞いたとき、  
すわって泣き、数日の間、  
喪に服し、  
断食して天の神の前に祈って、

5 言った。

「ああ、天の神、主。  
大いなる、恐るべき神。  
主を愛し、  
主の命令を守る者に対しては、  
契約を守り、  
いつくしみを賜る方。

6 どうぞ、あなたの耳を傾け、  
あなたの目を開いて、  
このしもべの祈りを  
聞いてください。  
私は今、  
あなたのしもベイスラエル人の  
ために、  
昼も夜も御前に祈り、  
私たちがあなたに対して犯した、  
イスラエル人の罪を  
告白しています。

まことに、  
私も私の父の家も  
罪を犯しました。

7 私たちは、  
あなたに対して  
非常に悪いことをして、  
あなたのしもべモーセに  
お命じになった命令も、  
おきても、  
定めも守りませんでした。

8 しかしどうか、  
あなたのしもべモーセに  
お命じになったことばを、  
思い起こしてください。  
『あなたがたが不信の罪を  
犯すなら、  
わたしはあなたがたを  
諸国民の間に散らす。』



9 あなたがたがわたしに立ち返り、  
わたしの命令を守り行うなら、  
たとい、  
あなたがたのうちの  
散らされた者が  
天の果てにいても、  
わたしはそこから彼らを集め、  
わたしの名を住ませるために  
わたしが選んだ場所に、  
彼らを連れて来る』と。

10 これらの者たちは、  
あなたの偉大な力と  
その力強い御手をもって、  
あなたが贖われた  
あなたのしもべ、  
あなたの民です。

11 ああ、主よ。

どうぞ、このしもべの祈りと、  
あなたの名を喜んで敬う  
あなたのしもべたちの祈りとに、  
耳を傾けてください。

どうぞ、きょう、  
このしもべに幸いを見せ、  
この人の前に、  
あわれみを受けさせて  
くださいますように。」

そのとき、  
私は王の献酌官であった。

# 説教

ネヘミヤ記連講1

「私も、私の父の家も、罪を犯し」

ネヘミヤ記1章1節-11節

竿代 照夫 牧師

主テキスト：

「まことに、  
私も私の父の家も  
罪を犯しました。」

(ネヘミヤ1 : 6)

A. ネヘミヤ連講に当たって

(メモの「ネヘミヤ記について」  
参照)

i 著者：ネヘミヤ自身 (のメモ)

ii 時代：捕囚から帰還して百年後  
(5 BC)

iii ネヘミヤ：

ペルシャのアルタシャスタの  
献酌官で、

エルサレム再建プロジェクトの  
特命総督

iv テーマ:

エルサレムの城壁の再建および  
帰還者コミュニティの回復

v メッセージ:

① 祈りの大切さ;

② 「神のコミュニティ」作りの  
大切さ;

③ 神の言葉が生活の中心;

④ 霊的・実践的指導者のあり方;

⑤ イスラエルの聖さの維持、  
などなど

1. ネヘミヤ記を学ぶ意義：  
神のコミュニティ建設

2. ネヘミヤという人物

- ・ 名前：「主の憐れみ」
- ・ 信仰深い家庭背景
- ・ ペルシャ帝国時代  
(メモの「地図」参照)
- ・ アルタシャスタ  
(アルタクセルクセス) 王の  
献酌官 (1 : 1 1)





ペルシヤ帝国

チグリス川

バビロン

スサ  
(シュジャン)

エルサレム

ユーフラテス川

エジプト王国  
(26王朝 B.C. 663 - 525)

BC 5Cの世界

3. ネハミヤ記：

ネハミヤの備忘録

(1：1、5：19)

## B. ネヘミヤの祈り

(1 : 1 - 11)

### 1. 祈りのきっかけ (1 - 3節)

- ・ 出来事の背景 :

BC 445年12月、

ペルシャの首都シュシヤン

(スサ) で

- ・ ニュースを齎した人々 :

兄弟ハナニと一行 (1 : 2)

- ニュースの内容：  
エルサレムの城壁の再破壊と  
門の消失  
(メモの  
「ネヘミヤ時代の年表参照」)

## 【別紙メモより】

ネヘミヤ時代とその後の主な歴史的イベント

<u>年代(BC)</u>	<u>主な出来事</u>
586	ユダ滅亡、バビロン捕囚
538	バビロン滅亡、 捕囚からの帰還始まる
536	第一次帰還、 ヨシュア、ゼルバベルらによって 神殿が再建
458	第二次帰還、エズラの指導
444	第三次帰還、ネヘミヤ

## 2. ネへミヤの嘆き

(4－5節 a)

- ・ 嘆きと服喪
- ・ 断食
- ・ 祈り

### 3. ネヘミヤの訴え

(5節b－6節a)

- ・ 天地の創造者・支配者に対して
- ・ 契約を守る真実な方として

## 4. ネヘミヤの告白

(6節b－7節)

- 罪の告白から始まる  
(歴代誌第二6：36－39)
- 私たちの戦争責任
- 「同化する」姿勢：  
主イエスの姿勢でもある  
(イザヤ53：12)



終わりに：

祈りの対象者と自分を  
一体化して祈ろう